

質問

水道事業の今後の在り方は



小田川 謙一 議員

町長 管路更新計画を推進する



横田浄水場

質問

水道・下水道

事業は、今後収入が減っていくことが予想されるが、投資に伴う費用は大幅に増大していく時代になっていくと思われる。人口減少に伴う使用水量の減少は、水道・下水道事業にとって最大の脅威である。施設や管路は老朽化が顕著になっており、漏水や地震等の災害

による大規模断水の発生も危惧される。現時点での管路、施設の更新計画及び現状維持の可能性と予想される問題点は、

町長 本町の水道事業は、整備後40年を経過した管路について、緊急性や重要性などを総合的に考慮し、令和4年度に水道管路更新計画を策

定している。

現在、阿井地区、馬木地区において更新事業を実施しており、今後は八川地区、横田地区を更新する計画だ。施設については、老朽施設の更新を随時実施しており、近年では横田地区の取水場、浄水場並びに配水池を更新した。下水道は、管路施設の一定の整備を

終え、公共下水道は

ストックマネージメント計画、農業集落排水については維持管理適正化計画を策定し、合併処理浄化槽は、現場点検を行い、機器設備の修繕等を行っている。人口減少に伴う給水人口、水洗化人口の減少による料金収入は年々減少していくため、経営は大変厳し

いものとなり、現状維持は困難となるこ

とが予想される。しかしながら住民の生活基盤を維持していくためには、料金を改正も含めた一層の効率的な経営を行うことが必要になると考える。

今後の幼児教育は

質問

令和8年4月より横田地域の幼稚園を一か所に統合し「幼保連携型認定こども園」としてスタートさせる計画が進んでいるようだが、その概要と進捗状況及び今後のスケジュールは。

町長 「幼保連携型認定こども園」は幼

稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設だ。近年、お子様の発達に関する相談が目立つようになった。幼児園統合後も認定こども園制度という仕組みを活用して職員体制・指導体制も整えてチームで教育をやっていく。



横田幼稚園